

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 7 月 31 日(2023.7.31)

【公開番号】特開 2022-29973(P2022-29973A)  
【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-030  
【出願番号】特願 2020-133614(P2020-133614)  
【国際特許分類】  
A 63 F 7/02(2006.01)  
【FI】  
A 63 F 7/02 312 A

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 7 月 21 日(2023.7.21)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

遊技球が流下する遊技領域を有する遊技盤が設けられた第 1 枠部と、  
前記第 1 枠部の正面側に位置する第 2 枠部と、  
前記第 2 枠部の上部に設けられた装飾部と、  
前記遊技盤に取り付けられ、遊技球を前記遊技領域まで案内可能なレールと、  
前記レールに設けられ、当該レールの前記遊技盤への取り付け位置を案内可能な案内部  
と、  
前記遊技領域の上部に設けられ、当該遊技領域のうちの右側に相当する特定遊技領域へ遊  
技球を誘導可能な誘導通路と、  
前記誘導通路を構成し、前記遊技領域の外周側に位置する外側通路面と、  
前記遊技領域に設けられ、第 1 状態又は当該第 1 状態よりも遊技球が進入する可能性が  
高い第 2 状態に変位可能な進入領域と、  
所定の抽選確率で、前記第 2 状態に変位する旨が定められた特定抽選結果を導出可能な  
抽選手段と、  
前記抽選手段による抽選結果に基づく変動表示を実行可能な変動表示手段と、を備え、  
前記特定抽選結果が導出された場合、前記変動表示の実行後に前記進入領域が前記第 2  
状態に変位可能となるように設定された遊技機であって、  
遊技者に有利な特別遊技の実行の可否を決定可能な決定手段と、  
相対的に前記進入領域が前記第 2 状態に維持され難い非時短遊技状態、及び、相対的に  
前記進入領域が前記第 2 状態に維持され易い時短遊技状態を含む複数の遊技状態のいずれ  
かを設定可能な設定手段と、を備え、  
前記設定手段は、前記特別遊技の実行を介することなく前記時短遊技状態を設定可能で  
あり、  
前記時短遊技状態においては、前記抽選確率を前記非時短遊技状態と同様とする設定が  
行われるとともに、前記変動表示の実行時間を前記非時短遊技状態よりも短くする設定、  
及び、前記進入領域が前記第 2 状態に維持される時間を前記非時短遊技状態よりも長くす  
る設定の少なくともいずれか一方が行われ、  
前記遊技盤の盤面に対して直交する方向に延びる仮想線のうち、前記外側通路面の最上端  
を通る仮想線を第 1 基準線とし、

30

40

50

前記第 1 基準線と直交し上下方向に延びる仮想鉛直線が、前記装飾部の下面における最も背面側と交わる位置を第 1 基準位置とし、  
前記仮想鉛直線が、前記装飾部の下面における最下端と交わる位置を第 2 基準位置とする  
と、  
前記第 1 基準位置は前記第 1 基準線よりも下方に位置し、かつ前記第 1 基準線から前記第 1 基準位置までの距離が遊技球の直径以下であり、  
前記第 2 基準位置は前記第 1 基準線よりも下方に位置し、かつ前記第 1 基準線から前記第 2 基準位置までの距離が遊技球の直径以上であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球が流下する遊技領域を有する遊技盤と、  
前記遊技盤に取り付けられ、遊技球を前記遊技領域まで案内可能なレールと、  
前記レールに設けられ、当該レールの前記遊技盤への取り付け位置を案内可能な案内部と  
—  
前記遊技領域に設けられ、第 1 状態又は当該第 1 状態よりも遊技球が進入する可能性が高い第 2 状態に変位可能な進入領域と、  
所定の抽選確率で、前記第 2 状態に変位する旨が定められた特定抽選結果を導出可能な抽選手段と、  
前記抽選手段による抽選結果に基づく変動表示を実行可能な変動表示手段と、を備え、  
前記特定抽選結果が導出された場合、前記変動表示の実行後に前記進入領域が前記第 2 状態に変位可能となるように設定された遊技機であって、  
遊技者に有利な特別遊技の実行の可否を決定可能な決定手段と、  
相対的に前記進入領域が前記第 2 状態に維持され難い非時短遊技状態、及び、相対的に前記進入領域が前記第 2 状態に維持され易い時短遊技状態を含む複数の遊技状態のいずれかを設定可能な設定手段と、を備え、  
前記設定手段は、前記特別遊技の実行を介することなく前記時短遊技状態を設定可能であり、  
前記時短遊技状態においては、前記抽選確率を前記非時短遊技状態と同様とする設定が行われるとともに、前記変動表示の実行時間を前記非時短遊技状態よりも短くする設定、及び、前記進入領域が前記第 2 状態に維持される時間を前記非時短遊技状態よりも長くする設定の少なくともいずれか一方が行われ、  
前記案内部は、少なくとも、前記レールの始端から、前記レールの始端から終端までのうち最も左端に位置する左端部までの第 1 の範囲、及び、前記左端部から、前記レールの始端から終端までのうち最も上端に位置する上端部までの第 2 の範囲のいずれか一方に設けられているものの、前記上端部から前記終端までの第 3 の範囲に設けられていないことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

さらに、遊技球を遊技領域まで案内可能なレールに設けられ、当該レールの遊技盤への取り付け位置を案内可能な案内部は、少なくとも、レールの始端から左端部までの第 1 の範囲及びレールの左端部から上端部までの第 2 の範囲のいずれか一方には設けられているものの、レールの上端部から終端までの第 3 の範囲には設けられないようになっている。これにより、レールのうち、発射された遊技球から受ける衝撃が大きい始端側については、レールを遊技盤に確実に取り付けことができ、レールが取り付け位置からずれる、振動する等により、遊技球を発射強度通りの位置まで案内できず、設計値通りに出玉を発生させることができないといった事態を防止することができるとともに、レールのうち、発射された遊技球から受ける衝撃が小さい終端側については、案内部が設けられないことが

ら、遊技盤への取り付けが容易となる。

また、本発明に係る遊技機は、遊技球が流下する遊技領域を有する遊技盤が設けられた第 1 枠部と、前記第 1 枠部の正面側に位置する第 2 枠部と、前記第 2 枠部の上部に設けられた装飾部と、前記遊技盤に取り付けられ、遊技球を前記遊技領域まで案内可能なレールと、前記レールに設けられ、当該レールの前記遊技盤への取り付け位置を案内可能な案内部と、前記遊技領域の上部に設けられ、当該遊技領域のうちの右側に相当する特定遊技領域へ遊技球を誘導可能な誘導通路と、前記誘導通路を構成し、前記遊技領域の外周側に位置する外側通路面と、前記遊技領域に設けられ、第 1 状態又は当該第 1 状態よりも遊技球が進入する可能性が高い第 2 状態に変位可能な進入領域と、所定の抽選確率で、前記第 2 状態に変位する旨が定められた特定抽選結果を導出可能な抽選手段と、前記抽選手段による抽選結果に基づく変動表示を実行可能な変動表示手段と、を備え、前記特定抽選結果が導出された場合、前記変動表示の実行後に前記進入領域が前記第 2 状態に変位可能となるように設定された遊技機であって、遊技者に有利な特別遊技の実行の可否を決定可能な決定手段と、相対的に前記進入領域が前記第 2 状態に維持され難い非時短遊技状態、及び、相対的に前記進入領域が前記第 2 状態に維持され易い時短遊技状態を含む複数の遊技状態のいずれかを設定可能な設定手段と、を備え、前記設定手段は、前記特別遊技の実行を介することなく前記時短遊技状態を設定可能であり、前記時短遊技状態においては、前記抽選確率を前記非時短遊技状態と同様とする設定が行われるとともに、前記変動表示の実行時間を前記非時短遊技状態よりも短くする設定、及び、前記進入領域が前記第 2 状態に維持される時間を前記非時短遊技状態よりも長くする設定の少なくともいずれか一方が行われ、前記遊技盤の盤面に対して直交する方向に延びる仮想線のうち、前記外側通路面の最上端を通る仮想線を第 1 基準線とし、前記第 1 基準線と直交し上下方向に延びる仮想鉛直線が、前記装飾部の下面における最も背面側と交わる位置を第 1 基準位置とし、前記仮想鉛直線が、前記装飾部の下面における最下端と交わる位置を第 2 基準位置とすると、前記第 1 基準位置は前記第 1 基準線よりも下方に位置し、かつ前記第 1 基準線から前記第 1 基準位置までの距離が遊技球の直径以下であり、前記第 2 基準位置は前記第 1 基準線よりも下方に位置し、かつ前記第 1 基準線から前記第 2 基準位置までの距離が遊技球の直径以上であるようにしてもよい。

10

20

30

40

50